

日本学術会議協力学術研究団体 各位

平素よりお世話になっております。日本学術会議事務局です。

現在、2025年2月3日（月）に日本学術会議が主催する国際会議への参加者を募集しています。

皆様に下記のとおりご案内いたします。

■-----

【参加者募集中】「持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2024『持続可能なイノベーション創出のためのエコシステム～2040年の科学・学術と社会を見据えて～』」

-----■

『世界の多様な若手による「イノベーション創出を阻む問題」への挑戦！』をキャッチフレーズに、2025年2月3日（月）に「持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2024『持続可能なイノベーション創出のためのエコシステム～2040年の科学・学術と社会を見据えて～』」を日本学術会議講堂及びオンラインで開催します。今回の国際会議では、日本学術会議内に設置する託児所をご利用いただけます。お子さんと一緒に会議に出席いただくことも可能です。対面・オンライン共に、残りのご参加可能枠が少なくなりましたので、お早めに直下のリンクよりご登録ください。皆様のネットワークを通じて、当該会議の情報を共有いただけますと幸いです。

◆対面の参加登録（先着順）はこちらから（要登録・参加無料（※）、定員150名）

<https://icsts2024.pco-prime.com/?lang=jp>

※現地までの交通費及び宿泊費は、自己負担でお願いいたします。

◆オンラインの参加登録はこちらから（要登録・参加無料、定員450名）

[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_rPvvyVhuQ1Gn-vkpNURFAQ](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_rPvvyVhuQ1Gn-vkpNURFAQ)

◆専用ホームページはこちらから（登壇者略歴、会議コンセプト等掲載）

<https://www.scj.go.jp/ja/int/kaisai/jizoku2024/ja/index.html>

【日時（日本時間）】2025年2月3日（月）13:00-17:30

【主催】日本学術会議（国際委員会持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議2024分科会）

【後援】内閣府科学技術・イノベーション推進事務局、文部科学省

【開催趣旨】

2023年に日本学術会議「若手アカデミー」が公表した、見解「2040年の科

学・学術と社会を見据えていま取り組むべき 10 の課題」(下記 URL 参照)を  
基に、世界の多様な若手代表者がイノベーション創出を阻む複雑な問題に挑戦  
し、解決策を模索します。

オーストラリア、カナダ、中国、インド、韓国、シンガポールから、また国  
際連合教育科学文化機関 (ユネスコ) から新進気鋭の若手と日本の若手研究者  
が集結します。日本の事例を出発点に、持続可能なイノベーション創出のため  
のエコシステム形成に向けた課題や対応策について、国際的な共通点や差異に  
も焦点を当てながら、世界の (若手) 研究者、行政、産業界、市民社会ととも  
に議論します。

- ・見解「2040年の科学・学術と社会を見据えていま取り組むべき10の課題」  
<https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-25-k230926-4.pdf>

【使用言語】英語 (日英同時通訳あり)

【プログラム (予定)】

---

#### 開会挨拶

- 13:00-13:05 開会挨拶：光石 衛 (日本学術会議会長)
- 13:05-13:10 来賓挨拶：今井 絵理子 (内閣府大臣政務官) 【調整中】
- 13:10-13:15 趣旨説明：加納 圭 (滋賀大学教育学系教授、日本学術会議  
「国際委員会持続可能な社会のための科学と技術に関する  
国際会議 2024 分科会」委員長)

#### 基調講演

- 13:15-13:40 基調講演 1：標葉 隆馬 (大阪大学・社会技術共創研究セン  
ター准教授、日本学術会議「国際委員会持続可能な社会の  
ための科学と技術に関する国際会議 2024 分科会」副委員長、  
日本学術会議若手アカデミー副代表)
- 13:40-14:05 基調講演 2：オドレ・モアズ (マギル大学化学部教授)
- 14:05-14:30 基調講演 3：フェビアン・メドヴェッキ (オーストラリア国  
立大学科学院科学意識向上センター准教授)
- 14:30-14:55 基調講演 4：唐昆 (清華大学万科公共衛生健康学院准教授)

#### 休憩

14:55-15:15

パネルディスカッション (1.越境研究の推進、2.地域連携の推進、3.国際  
連携の推進、4.人材の育成・キャリアパスの整備、  
5.研究環境・業界体質の改善、6.イノベーションの  
推進等含め議論します)

- 15:15-17:25 モデレーター：標葉 隆馬 (大阪大学・社会技術共創研究セン

ター准教授、日本学術会議「国際委員会持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2024 分科会」副委員長、日本学術会議若手アカデミー副代表)

パネリスト：ソヨン・イム（東亜大学インターディシプリナリー・スターディーズ・カレッジ助教授）

チャンドラ・シェカール・シャルマ（インド工科大学ハイデラバード校化学工学部教授）

杉浦 愛（UNESCO 科学プログラム専門員）

スルフィカール・アミール（南洋理科大学社会科学部准教授）

吉川 真由（ARCH Venture Partners シニアアドバイザー）

井上 眞梨（株式会社メルカリ R4D マネージャー）

閉会挨拶

17:25-17:30 閉会挨拶：日比谷 潤子（日本学術会議副会長）

---

●本件問い合わせ先

持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2024 事務局（株式会社プライムインターナショナル内）

E-mail : icsts2024 (a) pco-prime.com

(a) は@に変更の上、ご連絡をお願いいたします。

営業日・営業時間（月）～（金）10:00-17:00 ※土・日・祝日・年末年始（12月28日～1月5日）はお休み

-----